



2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月14日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー

上場取引所 東

コード番号 4343

URL <https://www.fantasy.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）藤原 徳也

問合せ先責任者（役職名）取締役兼専務執行役員 管理統括兼
リスクマネジメント担当

（氏名）井関 義徳（TEL）043（212）6203

半期報告書提出予定日 2025年10月15日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年2月期中間期	46,624	6.2	3,630	26.5	3,418	69.7	1,763	371.7
2025年2月期中間期	43,920	7.5	2,870	41.8	2,014	△17.5	373	△68.3

（注）包括利益 2026年2月期中間期 1,716百万円（163.2%） 2025年2月期中間期 652百万円（△29.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	89.18	88.91
2025年2月期中間期	18.91	18.86

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年2月期中間期	64,631	8,571	12.9
2025年2月期	53,673	6,842	12.3

（参考）自己資本 2026年2月期中間期 8,317百万円 2025年2月期 6,576百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	5.00	—	0.00	5.00
2026年2月期	—	0.00			
2026年2月期（予想）			—	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	92,200	5.7	7,300	68.0	5,700	65.7	2,500	—	126.42

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年2月期中間期	19,782,025株	2025年2月期	19,780,525株
② 期末自己株式数	2026年2月期中間期	2,354株	2025年2月期	2,204株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年2月期中間期	19,778,909株	2025年2月期中間期	19,772,878株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「こどもたちの夢を育み、“えがお”あふれる世界をつくる。」というパーパスの実現に向け、新たなビジョンのもと中期経営計画(2024年～2026年)を策定し、持続可能な社会への貢献と企業価値を高めるべく事業活動を推進しております。

当中間連結会計期間(2025年3月1日～2025年8月31日)における当社及び連結子会社の連結業績は、売上高466億24百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益36億30百万円(同26.5%増)、経常利益34億18百万円(同69.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益17億63百万円(同371.7%増)、収益力実態を示す償却前営業利益は89億2百万円(前年同期より8億18百万円増)となりました。売上高含め各段階利益ともに中間連結会計期間として過去最高を更新いたしました。

(国内事業)

国内事業は、既存店売上高前年同期比106.7%と好調に推移いたしました。部門別では、主力のプライズ部門で同106.8%、うち当社の中心顧客であるキッズ向けの「キッズプライズ部門」が同117.9%と引き続き好調で部門全体の売上を牽引いたしました。次いで構成比が高く荒利益率が最も高いメダル部門は、同101.9%と堅調に推移いたしました。

プレイグラウンド事業では、猛暑等の異常気象や室内遊びの安全性ニーズに対応した業態を拡大しております。コストパフォーマンスが高く長時間滞在できる中小商圈に対応した新業態「のびっこジャンボ」3店舗、「のびっこピクニック」1店舗を出店いたしました。また、大商圈に対応したテーマ型大型業態「ちきゅうのにわ」5店舗、お子さまひとりでもあそべる小型専門店「スキップガーデン」1店舗を出店いたしました。

アミューズメント事業では、カプセルトイ専門店では「TOYS SPOT PALO」35店舗、「カプセル横丁」1店舗、プライズ専門店では「PRIZE SPOT PALO」6店舗を出店いたしました。

当中間連結会計期間の店舗数は、52店舗を出店する一方、33店舗を閉店し、2025年8月末では772店舗となりました。

以上の結果、国内事業における当中間連結会計期間の業績は、売上高377億59百万円(前年同期比8.6%増)、営業利益39億3百万円(同16.5%増)となり、売上高・営業利益ともに前年に引き続き過去最高を更新し、連結全体を大きく牽引しております。

(アセアン事業)

アセアン事業は、プレイグラウンドを主力事業としており、当社の強みである「オリジナルの内装や遊具」、「高い安全性とスタッフの接客力」を強化し競合との差別化を図っております。昨年度より「業態・エリア開発」を推進し、従来からの主力標準業態「kidzooona(キッズーナ)」に加え、新たな商圈・商業施設に対応する新業態「Kidzooona Safari(キッズーナサファリ)」「KID'S BOX(キッズボックス)」「KID'S BOX JUMBO(キッズボックスジャンボ)」等を開発し、各国で初進出となるエリアにも出店を拡大しております。

当中間連結会計期間の店舗数は、64店舗を新規出店する一方、15店舗を閉店し、2025年8月末の店舗数はFC5店舗を含め381店舗となりました。

以上の結果、アセアン事業における当中間連結会計期間の業績は、売上高72億96百万円(前年同期比14.2%増)、営業利益3億81百万円(同48.6%減)となりました。将来を見据えた販管費の増加と一部既存店の収益低下により営業利益は減益となりましたが、積極的な出店戦略により売上高は中間連結会計期間として4期連続で過去最高を更新いたしました。

(中国事業)

中国事業は、前期末に策定した利益改善計画に基づく施策(不採算店舗の整理、経費削減、プレイグラウンドの活性化)を第1四半期から継続して実施し、各施策とも順調に推移しております。

当中間連結会計期間の店舗数は、出店リスクの少ない「莫莉活力空間(モーリーかつりよくくうかん)」を中心に38店舗を新規出店する一方、大型・標準業態「モーリーファンタジー」を中心に

42店舗、小型業態「莫莉活力空間」19店舗、合計61店舗を閉店し、2025年8月末の店舗数はFC6店舗を含め120店舗となりました。

以上の結果、中国事業における当中間連結会計期間の業績は、売上高17億4百万円（前年同期比40.5%減）、営業損失6億53百万円（前年同期営業損失12億22百万円）となりました。売上高は不採算店舗等の閉店により減少するも、営業利益は前年同期より大幅に改善いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、197億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ75億91百万円増加いたしました。主な内訳は、当中間連結会計期間末日が金融機関の休日であり、売上預け金のうち夏休み期間に係る8月上旬分が翌月に決済されたことによる売上預け金の増加（48億59百万円）、現金及び預金の増加（20億15百万円）であります。

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、448億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億66百万円増加いたしました。主な内訳は、新店及び店舗活性化に伴う遊戯機械の増加（18億52百万円）及び建物の増加（14億49百万円）であります。

この結果、総資産は646億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ109億58百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、387億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ80億24百万円増加いたしました。主な内訳は、短期借入金の増加（53億55百万円）、1年内返済予定の長期借入金の増加（8億円）、未払費用（主に人件費と賃借料）の増加（7億4百万円）であります。

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、172億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億4百万円増加いたしました。主な内訳は、長期借入金の増加（19億82百万円）、連結子会社におけるリース債務の減少（6億2百万円）であります。

この結果、負債合計は560億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ92億29百万円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、85億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億28百万円増加いたしました。主な内訳は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上（17億63百万円）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月11日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,167,459	8,182,673
売掛金	198,707	253,152
売上預け金	1,114,485	5,974,467
棚卸資産	2,733,181	2,912,388
その他	1,971,612	2,454,252
流動資産合計	12,185,447	19,776,934
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,060,488	8,510,145
遊戯機械(純額)	18,833,228	20,685,775
使用権資産(純額)	4,799,646	4,398,010
その他(純額)	2,179,655	2,358,926
有形固定資産合計	32,873,019	35,952,858
無形固定資産		
のれん	79,511	61,168
ソフトウェア	1,076,508	1,056,855
その他	4,229	4,056
無形固定資産合計	1,160,249	1,122,080
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	4,886,681	5,023,419
その他	2,568,066	2,756,456
投資その他の資産合計	7,454,747	7,779,875
固定資産合計	41,488,016	44,854,814
資産合計	53,673,464	64,631,748

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,870,036	2,367,441
短期借入金	12,104,533	17,459,900
1年内返済予定の長期借入金	3,289,494	4,089,931
1年内返済予定の長期割賦未払金	579,770	583,181
リース債務	2,391,805	2,239,710
未払費用	1,893,678	2,597,919
未払法人税等	1,209,960	1,652,228
賞与引当金	465,160	448,044
役員業績報酬引当金	31,808	26,071
閉店損失引当金	288,264	205,583
設備関係支払手形	3,077,850	3,355,481
その他	3,555,928	3,757,776
流動負債合計	30,758,292	38,783,270
固定負債		
長期借入金	10,540,600	12,523,453
長期割賦未払金	488,365	195,919
リース債務	3,441,751	2,839,316
退職給付に係る負債	87,204	96,453
資産除去債務	1,389,094	1,519,722
その他	125,900	102,386
固定負債合計	16,072,917	17,277,252
負債合計	46,831,209	56,060,522
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,824,320	1,825,948
資本剰余金	4,815,842	3,239,157
利益剰余金	1,005,391	4,347,640
自己株式	△5,001	△5,411
株主資本合計	7,640,552	9,407,335
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,279,349	△1,301,099
退職給付に係る調整累計額	215,220	210,934
その他の包括利益累計額合計	△1,064,129	△1,090,164
新株予約権	28,970	38,190
非支配株主持分	236,861	215,865
純資産合計	6,842,255	8,571,225
負債純資産合計	53,673,464	64,631,748

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	43,920,303	46,624,731
売上原価	37,517,023	39,518,701
売上総利益	6,403,280	7,106,029
販売費及び一般管理費	3,532,979	3,475,613
営業利益	2,870,301	3,630,416
営業外収益		
受取利息	41,639	39,953
為替差益	—	4,968
受取保険金	43,778	13,027
固定資産売却益	1,629	43,923
預り金受入益	7,463	7,068
リース解約益	135,158	162,428
その他	55,852	30,346
営業外収益合計	285,523	301,716
営業外費用		
支払利息	326,625	475,548
為替差損	541,101	—
固定資産売却損	10,368	8,282
資金調達費用	187,770	9,000
その他	75,795	21,149
営業外費用合計	1,141,661	513,980
経常利益	2,014,163	3,418,152
特別利益		
閉店損失引当金戻入額	41,912	41,146
特別利益合計	41,912	41,146
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	171,660	104,030
減損損失	176,249	208,098
店舗閉鎖損失	78,795	40,975
特別損失合計	426,705	353,103
税金等調整前中間純利益	1,629,370	3,106,195
法人税、住民税及び事業税	836,188	1,472,805
法人税等調整額	411,495	△114,718
法人税等合計	1,247,683	1,358,087
中間純利益	381,686	1,748,108
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	7,704	△15,827
親会社株主に帰属する中間純利益	373,982	1,763,935

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
中間純利益	381,686	1,748,108
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	267,659	△26,918
退職給付に係る調整額	2,864	△4,285
その他の包括利益合計	270,524	△31,204
中間包括利益	652,211	1,716,903
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	655,217	1,739,908
非支配株主に係る中間包括利益	△3,006	△23,004

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,629,370	3,106,195
減価償却費	5,213,264	5,271,608
固定資産除売却損益(△は益)	27,495	△19,671
賞与引当金の増減額(△は減少)	△87,505	△19,266
受取利息	△41,639	△39,953
支払利息	326,625	475,548
為替差損益(△は益)	541,101	△4,968
受取保険金	△43,778	△13,027
リース解約益	△135,158	△162,428
減損損失	176,249	208,098
売上債権の増減額(△は増加)	△80,961	△53,892
売上預け金の増減額(△は増加)	△4,570,831	△4,856,520
棚卸資産の増減額(△は増加)	△433,402	△162,894
仕入債務の増減額(△は減少)	486,386	491,367
その他	785,433	695,701
小計	3,792,651	4,915,895
利息の受取額	14,812	15,879
利息の支払額	△334,212	△465,541
法人税等の支払額	△891,498	△1,036,853
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,581,753	3,429,380
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,397,634	△7,429,824
有形固定資産の売却による収入	21,237	64,274
無形固定資産の取得による支出	△205,311	△157,299
長期前払費用の増加による支出	△80,643	△126,220
敷金及び保証金の差入による支出	△454,034	△241,110
敷金及び保証金の回収による収入	264,184	144,767
その他	△92,972	△174,286
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,945,174	△7,919,699
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,920,844	5,307,420
長期借入れによる収入	12,494,297	4,463,324
長期借入金の返済による支出	△1,652,657	△1,710,404
配当金の支払額	△98,848	—
リース債務の返済による支出	△1,322,469	△1,278,480
割賦債務の返済による支出	△285,663	△289,035
その他	△200	△409
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,213,612	6,492,416
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,866	12,156
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△160,675	2,014,253
現金及び現金同等物の期首残高	7,491,499	6,141,169
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,330,824	8,155,423

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月21日開催の定時株主総会において、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分について決議し、2025年6月23日にその効力が発生いたしました。これにより、資本準備金4,500,000千円をその他資本剰余金に、利益準備金212,500千円を繰越利益剰余金にそれぞれ振り替えております。また、増加したその他資本剰余金のうち、1,578,313千円を繰越利益剰余金に振り替えております。

これらの結果、当中間連結会計期間末において、資本剰余金が3,239,157千円、利益剰余金が4,347,640千円となっております。

なお、株主資本の合計金額に著しい変動はありません。

(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(重要な会計上の見積り：固定資産の減損)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り：固定資産の減損)に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	中間連結 損益計算書 計上額
	国内	アセアン	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	34,665,111	6,389,274	2,865,917	43,920,303	—	43,920,303
セグメント間の内部売上高 又は振替高	110,912	—	—	110,912	△110,912	—
計	34,776,023	6,389,274	2,865,917	44,031,216	△110,912	43,920,303
セグメント利益又は損失(△)	3,351,402	742,558	△1,222,875	2,871,086	△785	2,870,301

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間に、「アセアン」セグメント13,564千円、「中国」セグメント162,684千円の減損損失を計上しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	中間連結 損益計算書 計上額
	国内	アセアン	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	37,624,008	7,296,381	1,704,342	46,624,731	—	46,624,731
セグメント間の内部売上高 又は振替高	135,891	—	—	135,891	△135,891	—
計	37,759,899	7,296,381	1,704,342	46,760,623	△135,891	46,624,731
セグメント利益又は損失(△)	3,903,039	381,548	△653,585	3,631,003	△586	3,630,416

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間に、「国内」セグメント5,353千円、「アセアン」セグメント67,898千円、「中国」セグメント134,847千円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。